

# 平成16年度原子力関係経費の見積りについて (農林水産省)

平成15年7月22日

## 1. 基本方針

- (1)農林水産省では、食料・農業・農村基本法（平成11年法律第106号）に基づき閣議決定された食料・農業・農村基本計画に基づき、食料自給率向上のための作物等の品質向上や省力・安定栽培等農業生産の現場を支える技術、画期的な品種開発を図るためのゲノム解析等の革新的技術等に関する研究開発を推進している。
- (2)また、バイオテクノロジー戦略大綱（平成14年12月BT戦略会議策定）や食品安全基本法（平成15年法律第48号）の制定等を踏まえ、食の安全・安心及び消費ニーズ対応のためのプロジェクト研究等を充実することとしている。
- (3)このような中で、「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」の「国民生活に貢献する放射線利用」で示されているように、食料の安定・安全な供給に貢献するための放射線利用技術の開発や病害虫根絶事業等を行っている。
- (4)なお、この分野の試験研究は、当省においては試験研究独立行政法人が取り組んでおり、平成13年度に策定された法人毎の中期計画に基づき、放射線育種技術の開発等の先導的、基盤的研究開発を原子力試験研究費により実施している。

## 2. 16年度の主な取組及び重点化・合理化事項等

### (1)特殊病害虫根絶事業

奄美群島におけるアリモドキゾウムシ根絶防除に必要な経費

（平成16年度予算要求額：調整中、平成15年度予算額：59百万円）

沖縄県におけるウリミバエ侵入防止事業・イゾウムシ等根絶防除に必要な経費

（内閣府一括計上予算）

（平成16年度予算要求額：調整中、平成15年度予算額：802百万円）

国内の一部地域に発生しているアリモドキゾウムシ等特殊病害虫に対して放射線を利用した不妊虫放飼法により根絶事業を実施し、発生地における農業振興を図る。また、既に根絶されたウリミバエについては、不妊虫放飼による再侵入に備えた対策を常時実施することにより、農産物の安全で安定的な生産を確保する。

### (2)R I 研修施設の有効活用と管理

（平成16年度予算要求額：調整中、平成15年度予算額：41百万円）

バイオテクノロジー等の先端技術を中心とした研究開発を効率的に推進するため、R I 研修施設において、研修や共同研究等を実施する。

(3)原子力試験研究費による研究（文部科学省一括計上予算）

（平成 16 年度予算要求額：調整中、平成 15 年度予算額：219 百万円）

農林水産研究分野において、原子力を利用した新たな分析技術の開発、放射線育種技術の開発（別添）、生物における放射線影響の機構解明等の先端的基盤研究について、各独立行政法人の R I 施設等を活用するとともに、原子力研究所等他機関との連携を図りつつ推進する。

具体的には、低エネルギー電子ビーム利用による食品貯蔵害虫防除技術の開発、突然変異体の作出による新農作物素材の創出技術の開発、昆虫の放射線耐性機構の解明等の課題を実施する。

(4)放射能調査研究費（文部科学省一括計上予算）

（平成 16 年度予算要求額：調整中、平成 15 年度予算額：154 百万円）

食の安全性を確保していくため、放射性核種の農作物への吸収移行及び農林生産環境における動態の解明、家畜とその飼養環境、海産生物における放射能汚染状況の把握等を行う調査研究を実施するとともに緊急事態に備えた測定態勢の維持等に務める。

(別添)

## 放射線育種場に係る品種登録・申請等一覧

平成 15年6月現在

(種苗法に基づく品種登録)

植物の種類	品種の名称	原品種	登録・申請等年月	改良特性	その他
なし	ゴールド二十世紀	二十世紀	登録年月 H 3.12	ナシ黒斑病耐病性	登録番号 第2932号
きく	南風の初雪	太平	" H 7. 3	変異花色(白)	共同出願者 沖縄県 登録番号 4305
きく	南風の燦	"	" H 7. 3	" (黄褐)	" : " " 4306
きく	南風の紅	"	" H 7. 3	" (濃桃)	" : " " 4307
きく	南風の美童	"	" H 7. 3	" (淡桃)	" : " " 4308
きく	南風の夕暮	"	" H 7. 3	" (橙)	" : " " 4309
きく	南風の輝	"	" H 7. 3	" (黄)	" : " " 4310
しば	ウインターカーペット	筑波系	" H 7. 3	冬枯れ抵抗性	" :住友金属工業(株) " 4299
しば	ウインターフィールド	筑波系	" H 8.11	冬枯れ抵抗性、矮性	" :住友金属工業(株) " 5254
イネ	あかねふじ	農林 8号	" H 9. 1	低アミノス米	" :株加工米育種研究所 " 5307
なし	寿新水	新水	" H 9. 3	ナシ黒斑病耐病性	" :鳥取県 " 5436
なし	おさゴールド	おさ二十世紀	" H 9. 7	ナシ黒斑病耐病性	" : " " 5620
茶	茶中間母本農 2号	やぶきた	" H10. 6	自家和合性	" :野菜 茶業試験場 " 6449
えのきたけ	信濃の華	K 1	" H10. 7	白色優良種	" : (社)長野県農村工業研究所 " 6559
エニシダ	メイシャワー	クリムソンキング	" H10.10	半円形 半矮性樹、濃黄花	" :明治製菓(株) " 7027
エニシダ	メイワコ	"	" H10.10	扁円形 矮性樹、濃赤花	" : " " 7028
エニシダ	メイロゼ	"	" H10.10	半円形 高性樹、濃橙・黄複色花	" : " " 7029
エニシダ	メイブ	"	" H10.10	盃形 極矮性樹、濃赤花	" : " " 7030
トロコギキョウ	レッドロビン	モルゲンロート	" H11.7	小輪スプレー咲、赤紫覆輪	" : (社)長野県農村工業研究所 " 7266
トロコギキョウ	パープルロビン	パステルムラサキ	" H11.7	小輪スプレー咲、濃紫覆輪	" : " " 7267
稲	LGC - 1	ニホンマサリ	" H14. 9	低グルテン米	" : " " 14069
エニシダ	メイロ	クリムソンキング	" H14.12	半円形 矮性樹、濃橙・黄複色花	共同出願者 明治製菓(株) " 19048
エニシダ	メイサムソン	パークウッドィ	" H14.12	楕円形 半矮性樹、黄・濃赤花	" : " " 19049
エニシダ	メイファニィ	クリムソンキング	" H14.12	扁円形 矮性樹、濃赤花	" : " " 19050
エニシダ	メイロード	"	" H14.12	楕円形 半矮性樹、濃赤花	" : " " 19051
稲	フラワーホープ	コシヒカリ	出願年月 H 4. 3	低アレルゲン米	
トロコギキョウ	パープルファンタジー	"	" H 7.11	中輪スプレー咲、細葉、鮮紫覆輪	共同出願者 : (社)長野県農村工業研究所
トロコギキョウ	パープルフレア	パステルムラサキ	" H 9. 2	極小輪スプレー咲、濃紫覆輪	" : " "
エニシダ	メイキング	"	" H10. 2	盃形 極矮性樹、濃赤花	" : " "
稲	家族だんらん	ニホンマサリ	" H12. 2.23	低アレルゲン米	" :アレルゲンフリーテクノロジー研究所
きく	南風の永光	大平	" H14.10	花色変異(桃 橙)	" :沖縄県
きく	南風の明星	大平	" H14.10	花色変異(桃 黄)	" : "
きく	南風の夢車	大平	" H14.10	花形 花色変異(船底弁 さし弁、桃 白)	" : "
きく	南風の淡紅	大平	" H14.10	花色変異(桃 桃白)	" : "
きく	イオンの光明	大平	" H14.10	花色変異(桃 複色:薄桃・薄黄)	" :日本原子力研究所
きく	イオンの成宏	大平	" H14.10	花色変異(桃 複色:薄桃・黄橙)	" : "
きく	イオンの黎明	大平	" H14.10	花色変異(桃 薄黄橙)	" : "
きく	イオンの初音	大平	" H14.10	花色変異(桃 複色:薄桃・明黄橙)	" : "
きく	イオンの光輝	大平	" H14.10	花色変異(桃 複色:薄黄・桃)	" : "
きく	イオンの魔法	大平	" H14.10	花色変異(桃 明橙)	" : "

## 原子力関係経費の見積もりヒアリング 施策概要

1. 所管省：農林水産省

2. 施策名：特殊病虫害根絶事業

( 奄美群島におけるアリモドキゾウムシ根絶防除に必要な経費、  
沖縄県におけるウリミバエ侵入防止事業・イモゾウムシ等根絶防除に必要な経費（内閣府一括計上）

3. 要求額： (百万円)

	16年度要求額	15年度予算額
一般会計		
奄美群島アリモドキゾウムシ	調整中	59
沖縄県ウリミバエ、イモゾウムシ	調整中	802
(内閣府一括計上)		
電源特会（立地勘定）		
電源特会（利用勘定）		
合計		

4. 長期計画との対応：

【主たる該当分類】 4 放射線利用

【従たる該当分類】

5. 施策内容

(1) 概要（必要性・緊急性）

沖縄、奄美群島等には、さつまいもに重大な被害を与えるアリモドキゾウムシ等が発生しており、さつまいも等に著しい被害を与えているばかりでなく、これら害虫の未発生地域へのまん延を防止するため、その寄主となる植物の移動が禁止又は制限されている。

このため、発生地における農業生産振興を図るとともに未発生地域へのまん延を防止し、我が国の農作物の安定的な生産に資するため、アリモドキゾウムシ等について、放射線を用いた不妊虫放飼法等の技術を用いて根絶に向けた防除を実施する。

また、既に根絶が達成されたウリミバエについては、根絶後も再侵入の危険性が非常に高く、発生地からの再侵入を防止する必要があるため、不妊虫放飼法等による侵入防止措置を実施する。

(2) 期待される成果・これまでの成果

これらの特殊病虫害が根絶されることにより、発生地における農業生産振興が図られるとともに、未発生地域におけるまん延防止が図られ我が国の農作物の安定的な生産に資する。なお、現在、沖縄県久米島については、アリモドキゾウムシの発生密度が非常

に低く根絶に近い状態である。

また、果菜・果実類の大害虫で我が国が最も侵入を恐れている害虫のウリミバエについては、我が国に大正8年に侵入し、沖縄、奄美群島にまん延していたが、不妊虫放飼法等を用いた根絶防除の結果、平成5年に我が国から根絶した。

#### 6．事前評価・中間評価の有無及びその評価の内容：

効率的な根絶防除を実施するため、専門的な知識を有する有識者を参集し事業検討会を開催している。また、事業実施地区において特殊病害虫の増減を調査し、防除効果の評価とそれに基づく計画の見直しを行っている。

#### 7．平成16年度予算要求内容：

不妊虫放飼により、継続的に防除を行いアリモドキゾウムシ等の生息密度を低下させていかなければならない。また、ウリミバエについては、これらが再侵入・まん延した場合、再根絶に莫大な費用がかかることから、現在の予防措置水準を維持する必要がある、本事業を継続して実施することとしている。

#### 8．その他（懸案事項、他省との連携状況など）：



アリモドキゾウムシ



イモゾウムシ

